

灯の回廊 令和七年二月十五日

久々の大雪の牧村に行ってきました。宮口、柳島はそれほどでもありませんでしたが深山荘の積雪は3メートルほど。次の朝、雪の妙高山を見に出かけた棚田新田は有に4メートルはあったのではないのでしょうか。

十五、十六とお天気は快晴で、夜の雪原の灯は美しく、雪山に打ちあがる花火は澄んだ夜空に輝き、それはそれは、楽しいひと時でした。(轟)



- ・今日も来て 明日も来て 見てみたい ふるさとの友の顔 (富夫ちゃん)
- ・雪像の ゴジラの雄叫び 深山荘 (岩)
- ・出迎えは 大谷選手帽子 雪ダルマ (岩)
- ・古屋敷 冬でも行きたい 古屋敷 (さちこだもの)
- ・酒飲んで 雪にもまれて 賭博して (はーちゃん)
- ・ほしのクン みんな大好き チュチュチュ (のぶ)
- ・かじかんだ 指にしみいる どぶろくの 熱さが心に届く 雪まつり (はーちゃん)
- ・初参加 楽しかったな 雪まつり (とら)
- ・牧村を ふるさと呼ぶ 愛酒家 (セバ子)
- ・新しい 心のふるさと 牧村よ (まっちゃん)
- ・牧村のアヒル職人 極めたし (美希)
- ・雪原に 顔が輝く 峠道 (とど)
- ・豪雪に 耐えて迎えた 灯籠火 (つとむ)
- ・灯を 眺めて食す 雪の夜 シシ汁、キャベツ、おにぎり、ワンカップ (とど)

